

●生活・法律相談は

◆市議会議員 高野 とも (7155) 1683
◆市議会議員 いぬい 紳一郎 (7159) 2773
◆市議会議員 小田 桐たかし (7154) 0878
日本共産党中央委員会 URL <http://www.jcp.or.jp/>

◆市議会議員 安西 孝之 (7148) 6870
◆元市議会議員 若王子 博夫 (7159) 0861
◆元市議会議員 せのお 七重 (7146) 0694

●サラ金、交通事故、遺産相続、借地借家、教育、医療、年金、住宅、パート労働、介護、その他、困ったこと、わからないこと、どんなことでも気軽におよせ下さい。

流山民報

2006年7月号
第150号

編集発行人
日本共産党流山市議団
流山市加4-1688
TEL/FAX (7157) 6140
E-Mail: kfbkd645@ybb.ne.jp
<http://www.geocities.jp/kfbkd645/index.htm>

「住民税が6千円から4万円に増えて、もうやっていけません」

くらし破壊ゆるさず 悪政にキツパリ対決

日本共産党



市内商工団体と懇談する日本共産党市議団

問い合わせ殺到!

市・県民税の納付通知が各家庭に届きました。概算では、総額2億8千万円。1人平均2万円、3倍もの増税です。市役所には市民の苦情や問い合わせが相次ぎ、「船橋市で1日500件の電話殺到」との新聞報道も。国民に「痛み」を押し付けている自民・公明と党の責任は重大です。

130000人が増税に

「今まで非課税だったのに、いきなり3万円の住民税なんて払えない」との訴えが寄せられまし。政府のすすめる「構造改革」は、増税・医療負担増と、一層国民を苦しめています。山形が、地方自治体の役割を發揮し、市民のくらしを守る防波堤になるべきです。日本共産党は、今年度から引き上げられた国民健康保険料や介護保険料の負担軽減のために、減免制度の創設・拡充、人権尊重の立場に立った生活保護制度の運用を求めています。

国保・介護 生活保護

自治体の役割発揮し 市民のくらしを守らねば要求

議会質問は議員の第1の仕事では? (全議員の3年間の質問回数)

政党・会派	議員名	質問回数
日本共産党	高野 とも	13
	安西 孝之	13
	小田 桐たかし	13
	乾 紳一郎	13
新世会	横須賀 靖	1(前期議長)
	森 亮二	13
	海老原 功一	8
	前田 祥三	4
	松野 豊	7
	戸部 源房	7
	青野 直	13
創成会	松本 守郎	3
	中村 好夫	4(後期議長)
	馬場 征興	7
	中川 弘	13
	北村 佳代子	10
	赤井 耿一	13
公明党	伊藤 實	1(前期副議長)
	伊原 優	9
	松尾 澄子	7
	関口 和恵	9
	秋間 高義	5(後期副議長)
社民・市民連合	田中 人実	7
	高橋 ミツ子	9
	菅沼 樹夫	13
新志会	田中美恵子	13
	日下部 信雄	13
	坂巻 忠志	4
民主党	宮田 一成	10
	山崎 専司	5
無所属	藤井 俊行	13
	根本 守	5

開発区域内の公共下水道整備に300億円、進出企業には優遇税制を。開発のために緑を削っておきながら、住宅販売の

ところ流山市は、市民の福祉やくらしなどについては、国の言うままに悪政に手を貸す一方で、常磐新線(TX)沿線の巨大開発にまい進。莫大な税金をつぎ込み続けています。

改憲手続き法案、共謀罪、教育基本法改悪

悪政を許さないささまざまな国民の運動を求めました。

悪政ストップに 国民的連帯と反撃を 日本共産党

第164回通常国会が閉会されましたが、改憲手続き法案、「共謀罪」法案、教育基本法改悪法案などが軒並み継続審議となりました。悪政を許さないさまざまな国民の運動を求めました。

野で噴出した自民党政治のゆきづまりに、対決し、政治の転換を求めて力を尽くしました。

引き続き、あらゆる国民運動を進展させ、秋の臨時国会で、悪法をそろって廃案に追い込むために、全力でがんばり抜きます。



市民のくらし そこのけで 巨大開発にまい進

日本共産党は、くらし破壊を許さず、悪政ときつパリ対決しています。

区域外の既存のまちがすたれては、市民が安心して暮らせるまちになりません。

ためたグリーンチェイン戦略をすすめて、「新しいまちづくり」に躍起になっています。

1500万円 受領問題

日本共産党 徹底究明もとめる

幕引きはかる 一部保守系・社民市民連合

政治倫理特別委員会で参考人質疑 百条委員会設置を否決してつくった特別委員会。5月に、根本守市議の参考人質疑が行われました。しかし、資金提供を受けた会社等の情報や税金滞納問題は、民対民の関係、個人のプライバシーの問題として回答を拒否。新聞報道以上のことは語られませんでした。6月議会の中間報告に向けて、わが党などが、調査活動の継続を主張する一方、真相究明を妨害し、いち早く幕引きを主張した新世会、新志会、社民・市民連合もこれに同調しました。

くらし・教育・まちづくり 6月議会 願い実現に全力

日本共産党 の4議席

国の「小さな政府」路線、「勝ち組」優遇路線で、深刻な生活苦におちいつている人が急増。自治体はこうした市民を放置しておいていいのでしょうか。日本共産党は、弱肉強食ではなく、だれもが安心して暮らせるまちをめざして、6月議会でもみなさんの願いを市政に届けました。

「人間らしく生きたい」 生活保護制度の充実を

◆◆◆高野とも議員



北九州 ための制度である生活保護市で、生活保護の活用が、一層重要ではないでしょうか。受けれられず、餓死、孤獨死が相次いで起こりました。「人間らしく生きたい」という当たり前の願いが、踏みにじられています。

6月議会では、人権侵害を起さないためにも、職員の人権教育と相談室の活用、女性職員の増員などを求めました。

問題山積み！介護保険見直しから 2ヶ月。介護・国保の負担も深刻

◆◆◆いぬい紳一郎議員



4月から介護保険の見直しは、財政削減が目的で、サービス削減や負担増をいっそう深刻化させるものです。

6月議会では、「生活援助を減らされ、ベッドも取り上げられた」「食費の自己負担化で、デイサービスの回数を減らした」など、介護現場で現れている深刻な実態を取り上げました。

これに対し当局の答弁は、政府の言い分を鵜呑みにするばかり…。実態をつかんでいないことが明らかになりました。介護保険料や国保料の値上げも制度維持のためには当然と、負担軽減を求める市民の願いを冷たく拒否しています。

暑くて授業に集中できない 教室にエアコン設置を

◆◆◆小田桐たかし議員



「酷暑」といわれる環境で子どもたちが勉強する夏場の普通教室は、40度近くに達します。文科省『学校環境衛生基準』(夏期は25〜28度が最も望ましい)に反しています。

ところが、本市では、『ガマンも教育』と、何も対策を講じていません。今議会の質間で、市当局はようやく「実態把握に努める」と

新たに持ち上がる TX東京駅延伸問題

いったい誰が費用を負担するのか？

財政負担も含め 市民に問うべき

開通して約1年が経つ常磐新線。推進派は東京駅まで延伸をと大合唱です。6月議会でも推進決議を提案しました。問題は誰が資金を負担するのかという点。新線は自治体が出資する第3セクターです。新たな鉄道建設には出資に見合った資金提供(約50億円)が求められることに…。しかも、このような大規模公共事業は、情報公開を徹底し、市民の声を集約して方向性を決めるべきです。

「ルートを増やして」 ぐりーんバスの充実を

◆◆◆安西孝之議員



ぐりーんバスが一部の地域しか走らないのはおかしい」との住民の声を示し、さらなる改善を求めました。しかし、当局は、東部地域の利便性向上に、

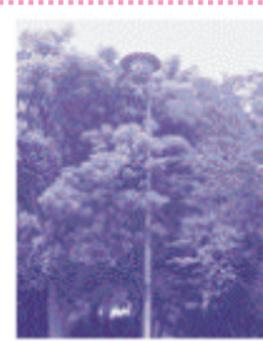
「バス事業者に働きかけた」とするだけ。ぐりーんバスの改善には触れませんでした。今議会では、「公共施設もまわってほしい」「税金を使って走らせているのに、力を合わせましょう。」



向小金地域の排水対策すむ
安西 孝之



工事中止のマンション、耐震構造調査を要求
小田桐たかし



壊れた公園の照明を取り替え
いぬい紳一郎



江戸川台小学校の耐震工事始まる
高野 とも

地域と市政とが確かな力